



# ALBA 新聞～希望の夜明け～

No.49 2024/06

※この新聞は利用者が作成しています。

季節の変わり目は風邪を引きやすくなるので、体調管理に気を付けていきましょう。(T・T)

## おにぎりの日

### 【6月18日はおにぎりの日】

一般社団法人日本記念日協会によると、毎年6月18日は「おにぎりの日」です。

1987年11月に石川県鹿島郡鹿西町(ろくせいまち=現在の中能登町)の杉谷チャノバタケ遺跡の竪穴式住居跡から日本最古(弥生時代)のおにぎりの化石とされる「チマキ状炭化米塊(ちまきじょうたんかまいかい)」が発見されたことから、当時の鹿西町が「おにぎりの里」としての地域起こしをする一環として制定されました。鹿西町の「ろく(6)」から6月に、毎月18日が「米食の日※」であることから18日になりました。

日本最古のおにぎりは、石ころほどの炭化した米の塊で、先端が尖った円錐型に近い、二等辺三角形のような形状です。この形状である理由としては、信仰の対象であった山を模したためという説があります。また、そのままの形状で化石化していることから、自らが食すことが目的ではなかった可能性が高いようです。日常の食ではなく、お供え物であったと考えられます。

※「米」の字を分解すると「十」「八」になることから、三重県が1978年10月に毎月18日を「米食の日」と制定しました。若者の米離れを防ぎ、米の消費を拡大するための記念日です。



←出土された日本最古のおにぎり

### 【歴史に詳しいスタッフさんにインタビューしました!】

Q. 6月18日はおにぎりの日だそうです。おにぎりに関わる歴史についてご存じのことを教えてください。

A. 稲作の発祥は日本かもしれないといわれています。

稲作は、中国から朝鮮半島を経て日本に伝わったと習った方が多いと思いますが、最近の科学的アプローチからは否定されており、稲は日本で自生していたのではないかといわれているのです。稲はもともと亜熱帯植物で、日本では自生しないとされていました。しかし、日本には亜熱帯気候の時があったようで、稲が日本に自生していたというのです。

ちなみに、現代では新潟県や山形県などの寒い地域が米どころとして有名ですが、これは明治時代以降の品種改良によって寒い地域でも稲が育つようになったからです。

また、日本の稲作は弥生時代から始まったという説がありますが、縄文時代には既に稲作があったという説もあります。

(O・M)

# 「もし6月に祝日があったら行ってみたい観光地は？」アンケート

## 1. ランキング

- 1位 京都府 4人 三室戸寺、京都市
- 2位 奈良県 3人 長谷寺、奈良公園
- 3位 大阪府 2人 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、万博公園

## 2. 観光地に行きたい理由

- ・京都府 三室戸寺

ハート形のアジサイが有名で、夜はライトアップも行われているので見てみたいと思ったからです。

- ・岩手県 みちのくあじさい園

日本一に認定されている岩手県屈指のアジサイ園

野球場4個分という広大な杉山の中にあり、国内最大級の規模を誇るから

- ・長崎県 五島列島

「ばらかもん」(アニメ)のモデルの町なので1度でいいから行ってみたいです。メガネ橋も見てみたいです。後チリンチリンアイス(バラのかたちのアイス)も食べてみたいです。

## 3. その他に行ってみたい観光地

- 和歌山 白浜アドベンチャーワールド
- 千葉県 東京ディズニーランド
- 愛知県 ジブリパーク

(O・K、M・M)



X 旧 Twitter



note (ブログ)



facebook

